

令和8年度「博物館機能強化推進事業（専門的人材派遣）」 質疑応答集

カテゴリ	質問	回答
応募	複数館が参加し中核館を置く実行委員会形式の組織についても、博物館関連団体として応募対象に含まれるか	博物館関連団体としてお申し込みをいただけます。
応募／支援テーマ	昨年度支援を受けた館でも、今年度の応募・支援対象となり得るか	昨年度（R7年度）に採択された博物館・関連団体が、昨年度と同一テーマで応募することはできません。ただし、R6年度事業で支援を受けた館におかれましては、R6年度と同一テーマでの応募は可能です。
支援テーマ	希望テーマを複数選ぶことはできるか	応募に際しては、1館または1団体につき原則1テーマでの応募をお願いしています。複数テーマを希望される場合には、優先順位をつけていただきます。原則としては、第1希望のテーマについての支援をマッチングさせていただきますが、お申し込みの内容や全体の選定状況により、必ずしもご希望に添えない場合があります。その際は、追加ヒアリングとして事務局からご担当者にご連絡をさせていただきます。
支援テーマ	課題が複数のテーマにまたがる場合は、どのように応募すればよいか。	より関連度が高いテーマを選択してください。博物館として抱える課題や目指すゴールを記入いただく項目がありますので、詳細を記入してください。なお、記入いただいた課題や目指すゴールを事務局が拝見し、当初のご希望とは別の支援内容や支援テーマをご提案させていただく可能性がございます。あらかじめご承知おきください。
支援内容	具体的には、どのような支援内容が想定されるか	具体の支援内容は、各館の現状・課題と希望テーマを踏まえて、専門家とのマッチング後に調整していくことになります。基本的には、館としてどのような点を改善したいのかを起点に支援内容を検討することになりますので、お申込みいただける際には、できる限り館としての課題とゴールを想定の上、諸項目を記入いただくと適切なマッチングとスムーズな支援開始につながります。
支援内容	複数施設を管理する自治体・館において、各館の状況も踏まえて中長期な運営方針を検討したいが、支援を受けることは可能か。	本年度事業では、4つ目のテーマとして、新たに「運営方針・中期計画・評価点検に関する知識・技術の提供」が設定されています。このテーマでは、博物館の運営方針や中期計画の策定、事業成果の測定・可視化、活動改善のための評価の導入・実施が対象となります。地域博物館としての役割整理、中長期計画に反映すべき論点、業務の優先順位や評価指標の整理等についての助言を受けることは、このテーマにおいて相談し得る内容と考えております。
支援期間	博物館の希望する支援期間・時期に支援を受けることはできるか	本年度の支援期間については、支援対象館と専門家とのマッチングの調整を経て、9月下旬から順次開始いたします。専門家の派遣修了は2027年2月末までとし、2027年3月12日（金）までに報告確認手続き等を終了することをお願いしております。この期間内であれば、博物館と専門家にて合意形成をいただいた上で、支援時期を調整いただくことが可能です。ただし、支援内容に対して十分な支援期間を確保いただくこと、専門家派遣終了と報告確認手続きの期日を遵守いただくようお願いいたします。
事業内容	支援期間中、博物館側にはどのような対応が求められるか	本事業では、課題解決の主体は博物館であり、専門家は伴走助言・コンサルテーションを行います。支援に関して、両者の合意の上で、専門家から博物館に対して次回支援までに取り組むべきことを提示された場合は、お取り組みをいただく必要があります。また、支援終了後は、博物館の皆様へ簡単なレポートをご提出いただく予定です。加えて、場合によっては、支援期間後に事後ヒアリングをお願いすることがございますので、ご協力をいただけますと幸いです。
専門家	希望テーマに対して、どのような専門家が想定されるか	派遣される専門家は、テーマに応じてマッチングされます。本年度は、専門家の公募も行う予定です。応募に当たっては経歴・役職の制限は設けておりませんが、応募をいただいた専門家は、原則として事務局にて面談等を行い、支援いただくことに支障がないことや、個々の専門性を把握したうえでマッチングを行う予定です。館の実態を鑑み、望ましい専門家像についてご要望がある場合には、応募時にフォームに記載いただければ、それらも加味しながらマッチングを行い、お応えするのが難しい場合には、追加ヒアリングなどのかたちでご相談しながらマッチングを行ってまいります。